

編集後記

昨秋放映された TBS テレビ「金曜ドラマ『コウノドリ』」は産科の現状をそれなりに紹介してくれていたと感じた。妊娠分娩は種族の維持に必要不可欠である。しかし、それを担う産科医が不足しているのは不可解なことである。出産とは本来祝福されるべき喜ばしいことであるにもかかわらず、近年の医療訴訟の増加で医師を志す学生たちの産科への認識が捻じ曲げられてしまったのかもしれない。産科医療保障制度や東京都のスーパー総合周産期システムはより安心な出産を保障し、こういった問題を払拭し、外部からの批判を減らすことに効果を上げている。産科医不足の解消にも繋がるだろう。

最近では論文の質も向上している。専門医制度における査読制のある論文の必修化は若い医師を奮起させるし、産婦人科新専門医制度での研修基幹施設のプログラム統括責任者を中心として指導医師に多数の論文作成の必要が求められることは指導医の質を高めることに貢献している。また論文投稿にも臨床研究審査委員会や倫理委員会の承認が問われるため、査読される前から研究計画の内容が吟味されるなど、論文作成の全体に監視機構が働くことが良い影響を与えている。

専門家による講演内容・要旨やレビュー論文は一定の読み応えがあり、論文への引用もしやすい。今後、これらの講演内容・要旨やレビュー論文の和文誌、英文誌への投稿が増加していくことを期待する。

(山本樹生)

編集担当常務理事

加藤 聖子

編集担当理事

峯岸 敬, 山田 秀人, 山本 樹生

編集担当主務幹事

矢幡 秀昭

編集担当幹事

川名 敬, 岸 裕司, 佐藤美紀子, 西 洋孝, 山上 亘

「日本産科婦人科学会雑誌」第 68 巻 第 3 号 (毎月 1 日発行) 本号定価 ¥2,000 (消費税別)
(但、本会会員については年会費に含む)

平成 28 年 2 月 25 日印刷・平成 28 年 3 月 1 日発行

〒104-0031 東京都中央区京橋 3 丁目 6 番 18 号 東京建物京橋ビル 4 階

発 行 所 公益社団法人 日本産科婦人科学会

電話 (03) 5524-6900 番 振替口座 00130-2-5568 番

<http://www.jsog.or.jp/>

編集兼発行人 公益社団法人 日本産科婦人科学会

印 刷 者 渡 邊 一 正

印 刷 所 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3 丁目 46 番 10 号 株式会社 杏 林 舎

【本誌掲載記事の転載・複製の際は本学会編集会議へお諮り下さい】
